

# コロナ禍での研究活動

早稲田大学大学院人間科学研究科  
松居辰則研究室修士課程2年

中村遥佳

# 目次

- 自分の研究テーマ
- 大学からの支援
- オンライン化による工夫
- 今後(対面, オンラインのハイブリッド)への期待

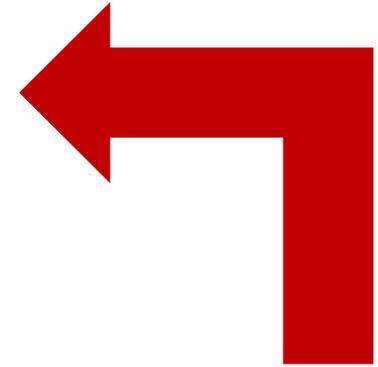
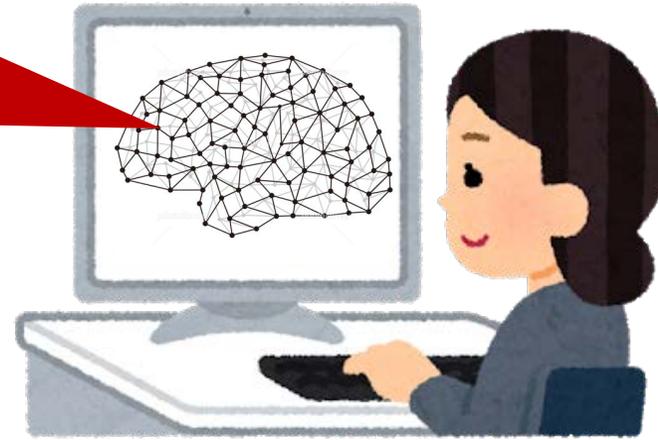
# 目次

- 自分の研究テーマ
- 大学からの支援
- オンライン化による工夫
- 今後(対面, オンラインのハイブリッド)への期待

「脳機能モデルによるマインドフルネス  
時の感情制御メカニズム解明の試み」

# 自分の研究テーマ

脳内ネットワーク構造  
内の情報伝播を計算機  
シミュレート



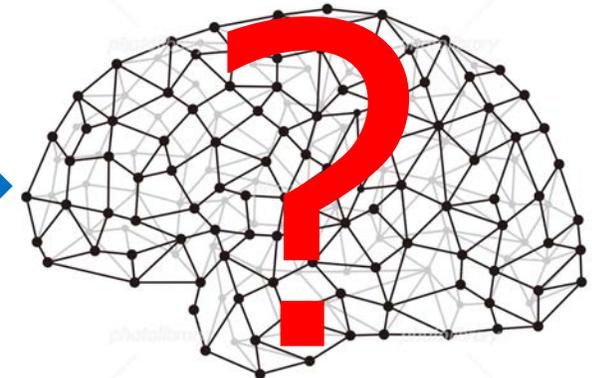
脳内ネットワーク構造

マインドフルネス時の感情制御

- 抑うつなどに対する治療的効果
- ストレス低減効果



どのように実現されているのか



# 目次

- 自分の研究テーマ
- 大学からの支援
- オンライン化による工夫
- 今後(対面, オンラインのハイブリッド)への期待

# 大学からの支援

- そもそも研究自体がパソコンがあれば完結してしまう

- 大学からの支援

脳内ネットワーク構造  
内の情報伝播を計算機  
シミュレート



- コロナに応じた奨学金の支援

- 給付金額は1人あたり10万円の新型コロナウイルス感染症拡大に関する総額5億円の学生緊急支援(またはその他奨学金の支援).
    - 国による「学生支援緊急給付金」制度の募集案内

- 経済的に困窮している学生に対してオンライン授業の受講に必要な機器(PC, WiFi機器等)の貸し出し等に関して独自の支援

- 図書館の支援

- 特別入館および郵送サービス
    - 一時的に無料で利用することのできる期間限定無料コンテンツ
    - 既存契約電子資料からアクセスできる期間限定のコンテンツ追加
    - 一部電子書籍の試読サービスと購入リクエストの受付
    - リモートでの既存契約電子資料の学外利用 (※これは前からできた気がする…)

# 目次

- 自分の研究テーマ
- 大学からの支援
- オンライン化による工夫
- 今後(対面, オンラインのハイブリッド)への期待

# オンライン化による工夫

- **家での作業環境の構築**
  - 机, 椅子など…
- **(願望)規則正しい生活ができるように心がける**

## 周りの大学院の同期たち…

- 家での作業環境の構築
- ストレッチや運動を定期的に行う
- 研究室に行く派と行かない派に分かれている
- 研究室内で共有カレンダーを作って人数を制限
- cousera, youtubeコンテンツを用いた勉強

# オンライン化による工夫

- オンラインで生活し始めて4ヶ月ほど経ちましたが研究活動を進める上では思ったより支障はない。
- しかし私自身はMTGをするにも研究を進めるにも対面の方がいいと考えている

## オンライン化によるいいところ

- 学会参加の際の移動時間が減る, 気軽に色々な勉強会, 学会へ参加できる
- 準備などの手間が省けること
- 対面でやった方がいいこととそうでもないことの区別を考えるきっかけになったこと

## オンライン化による悪いところ

- 生活リズムの悪化
  - なんでも自分のペースでできるため
- オンオフの付けられなさ
- 反応の見えにくさ
- 学会での質問が上がりにくい(所感), コネクションの広げにくさ
- コミュニケーション量の低下

# 目次

- 自分の研究テーマ
- 大学からの支援
- オンライン化による工夫
- 今後(対面, オンラインのハイブリッド)への期待

# 今後への期待

- オンラインにより実現可能な作業，逆にオンラインだとデメリットが目立つ作業の存在
  - 目的に応じた開催方法の決定
  - 個人的には気軽に聞きたい発表はいいが自分の発表や，質問したいときは対面がいい
- 研究室に行く必要性の有無にかかわらず，個人のオンライン，オフラインの向き不向きの存在
  - (研究室内での活動においては)個人の選択の自由

オンライン中心の生活によって可能性やデメリットが見れたことを利用して，イベント開催の際や，オンラインにより実現可能な作業における個人の作業環境の選択の自由があるような環境，制度づくりに期待します